

さわべス2017 文庫編

SAWAYA BEST

(16年11月24日 さわや書店スタッフ選考)

| 順位 | 書名・著者・出版社 | コメント |
|-------|------------------------------|---|
| 1位 | 逆襲、にっぽんの明るい奥さま 夏石鈴子/小学館文庫 | 皆さん！世の奥様が、日々思っているけど絶対に言えない「ホンネ」を、著者が代弁してくれました！夫こそ必読！ (フェザン店長江) |
| 2位 | 死の淵を見た男 門田隆将/角川文庫 | これは、故郷を守るために身を挺して闘った者たちによる、魂のモノログ。それと同時に極限状態で示された人間愛の記録でもある。(フェザン店松本) |
| 3位 | 幸いは降る星のごとく 橋本治/集英社文庫 | 女性芸人で笑う男性客はその芸人を異性としていないのではないかと問いの答えがここにある。(フェザン店田口) |
| 4位 | 永い言い訳 西川美和/文春文庫 | 妻が死んでなお、喪失感がない。そんな作家が、関係のなかった家族と関わることで満たされ、喪ったものを理解する。 (フェザン店長江) |
| 5位 | だから仏教は面白い！ 魚川祐司/講談社+α文庫 | 仏教を生み出したゴータマ・ブッダの教えの本質は「異性とは目も合わせないニートになれ！」だった！えっ！？ (フェザン店長江) |
| 6位 | アップルソング 小手鞠るい/ポプラ文庫 | 戦後生まれの女性作家が戦後史を書いた小説が多くなった。小手鞠さんのこの本もそのひとつ。戦後の重大事件、反戦集会からあさま山荘、ベルリンの壁崩壊など全部出てきます。 面白い。(上盛岡店大池) |
| 7位 | それでもわたしは山に登る 田部井淳子/文春文庫 | ガンで余命宣告されてなお私の薬は登山だと、震災後東北の高校生と富士山登山を続けた田部井さん。山と東北を愛する思いがいっぱい入った本です。(上盛岡店大池) |
| 8位 | こはだの鮓 北原亜以子/PHP文芸文庫 | 北原亜以子さんが急逝して三年が経過した今、著者の原点に触れることができる作品集に出会えた喜びをさわべスの歴史に残しておきたい。(フェザン店田口) |
| 9位 | メガバンク最終決戦 波多野聖/新潮文庫 | 日本国債の暴落から始まる狂乱のマネーゲーム。「ヒト」こそが不確定要素である相場を舞台に、有象無象が暴れまわる！(フェザン店長江) |
| 10位 | ディランを聴け！！ 中山康樹/講談社文庫 | ノーベル文学賞受賞のボブディラン。数あるディラン本の決定版が復刊。これを超えるディラン本はありません。(上盛岡店大池) |
| 【郷土賞】 | みちのく忠臣蔵 梶よう子/文春文庫 | 本書の中心的なテーマは「人の命の重み」。相馬大作の死を描くことで、人の命が軽んじられる風潮にある今の世に警鐘を鳴らしているのかもしれない。(フェザン店田口) |